

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成22年度

長野県阿智村

人口	6,924人(H23.3.31現在)	実収支	赤字	比率	-%
面積	214.47km ²	実収支	赤字	比率	-%
人口	7,431,720千円	将来負担	比率	11.6%	%
入出	6,801,489千円	将来負担	比率	-%	%
支取	227,241千円	市町村	年度	H18	-
標準	4,150,979千円	町	年度	H19	-
地方	6,716,941千円	村	年度	H20	-
債		年	度	H21	-
現		度	毎	H22	-
在				H20	-
高				H21	-

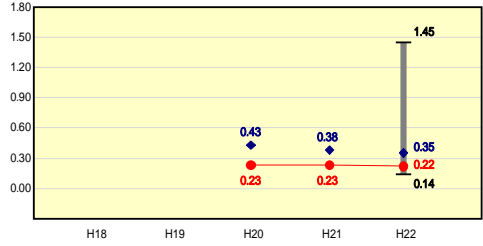


市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表示しない。充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表示しない。類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 『人件費・物件費等の状況』の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.22]

類似団体内順位 39/48 全国平均 0.53 長野県平均 0.42

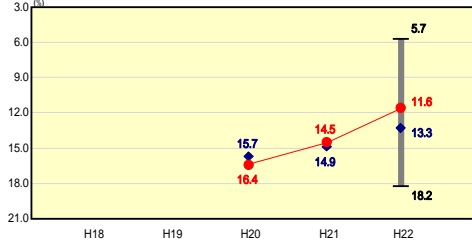


財政力指数の分析欄
 ・類似団体平均、県内平均を下回っている。税収の基幹となるような産業が少ないため収入の増が見込めない。平成20年度に村で誘致した工場が平成23年度より建設が行われる見込みであるので工場誘致による税収増に期待したい。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [11.6%]

類似団体内順位 15/48 全国平均 10.5 長野県平均 11.8

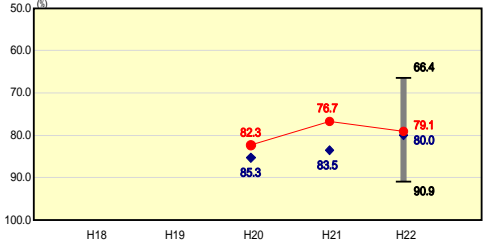


実質公債費比率の分析欄
 ・長野県平均並びで全国平均よりも上回っているが、起債の償還ピークを過ぎているため全国平均並び又は下回る水準まで抑えられる傾向にある。今後、大規模な投資事業も計画されているので、中・長期的な償還計画により、償還額の平準化や実質公債費比率の急激な上昇を抑えるよう努める。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [79.1%]

類似団体内順位 22/48 全国平均 89.2 長野県平均 82.7

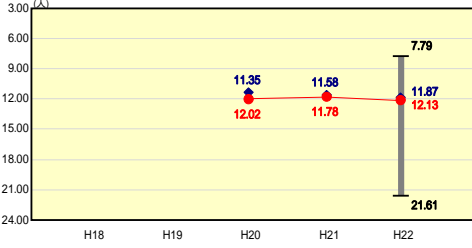


経常収支比率の分析欄
 ・経常収支比率79.1は類似団体とはほぼ同じ数値であるが、22年度は臨時財政対策債を発行していないため、臨時財政対策債を発行した場合は類似団体を大きく下回る数値となる見込みである。今後も地方債の繰り上げ償還、繰出金の適正化を行い、抑制に努める。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [12.13人]

類似団体内順位 30/48 全国平均 7.24 長野県平均 7.86

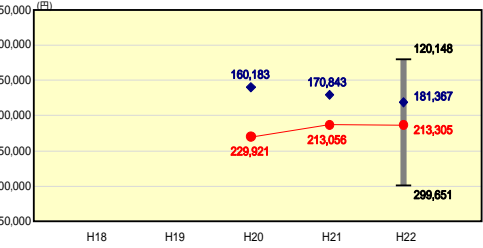


人口千人当たり職員数の分析欄
 ・平成18年1月と平成21年3月にした合併により職員数が増加したが、定員適正化計画に基づき、退職不補充等により、今後、職員数は減少していく見込みである。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [213,305円]

類似団体内順位 37/48 全国平均 114,985 長野県平均 124,369

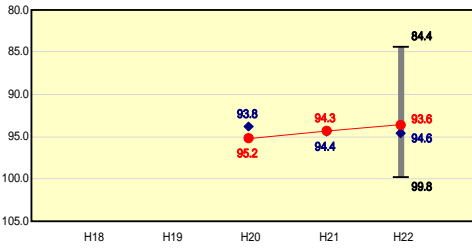


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 ・また類似団体平均より大きく上回っているが、正規職員の削減などにより改善傾向にある。今後も、市町村合併により増加している職員数の退職時不補充、保育所の統合などにより、コストの低減を図っていく方針である。

給与水準 (国との比較)

ラスバイレス指数 [93.6]

類似団体内順位 17/48 全国市平均 98.8 全国町村平均 95.3



ラスバイレス指数の分析欄
 ・類似団体平均値に推移しており、今後も職務、職責、成果等により適正な運用に努める。